

数学 I 学習指導案

学年・組	1年6組	教室	1の6教室	日時	6月14日(火) 2限目	指導者	
単元	2章 方程式と不等式					教科書 (出版社)	新編 数学 I (東京書籍)
指導計画	1節 1次不等式 1 不等式の性質・・・・・・・・・・ 1時間 2 1次不等式・・・・・・・・・・ 3時間 3 1次不等式の応用・・・・・・・・ 2時間 2節 2次方程式 1 2次方程式の解法・・・・・・・・ 1時間 2 解の公式・・・・・・・・・・ 2時間 3 2次方程式の実数解の個数・・・・ 1時間 (本時はその1時間目) 4 2次方程式の応用・・・・・・・・ 2時間						
主題	2次方程式の実数解の個数						
前時の課題	課題プリントの問題を解いてくる。						
本時の目標	解の公式の根号内の値 $b^2 - 4ac$ に着目し、その符号を調べることで実数解の個数がわかるということを理解させる。						
指導過程	学 習 活 動			時間 (分)	指導上の留意事項	評価の方法・規準等	
	導入	1	課題の解答をしながら、2次方程式の実数解の個数について考える。	7	・解の公式が確実に使えたかを確認させる。	・公式が定着しているか。(知識・理解)	
		2	本時の学習内容を確認する。				
	展開	1	2次方程式の実数解の個数の判別方法についてまとめる。	10	・個数により、解の公式の根号内の値 $b^2 - 4ac$ の符号が異なっていることを確認させる。	・ $b^2 - 4ac$ の値の符号の違いに気付くことができるか。(数学的な見方・考え方)	
		2	例5の解説を聞く。	5	・ a, b, c に当たる数を確認し、計算させる。	・積極的に問題に取り組んでいるか。(関心・意欲・態度)	
		3	問6を解き、理解を深める。	8	・ $b^2 - 4ac$ の値の符号が正しく判断できているか確認させる。	・問題の解法手順を正しく理解できているか。(表現・処理)	
		4	例題3の解説を聞く。	5	・ a, b, c に当たる数をしっかり確認させる。	・既知の内容を積極的に活用することができるか。(数学的な見方・考え方)	
5		問7を解き、理解を深める。	10	・机間指導をし、生徒の理解度を把握する。			
整理	1	本時のまとめと整理を行う。	5	・ $b^2 - 4ac$ の値の符号と実数解の個数の関係を確認する。	・本時の学習内容を理解できたか。(知識・理解)		
	2	次時の学習内容を確認する。					
備考	情報ビジネス科 生徒数 40名 (男子12名, 女子28名)						